

上下水道ビジョン基本方向	Ⅱ	安定的な給水の確保
--------------	---	-----------

基本施策	5	水道施設・管路の計画的な更新・改良
------	---	-------------------

基本施策目標
安全で安定的な給水を確保するため、老朽化が進む浄水施設・配水施設や道・送・配水管の更新・改良を計画的・効率的に進めます。

計画主要施策	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 浄水・配水施設等の更新・改良	<p>[概要] 浄水・排水施設の半数以上は、開設後30年以上経過し老朽化が進んでいるため、耐震化とあわせ計画的・効率的に更新・改良を進めます。</p> <p>[取り組み] 「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、耐震化とあわせ更新・改良に取り組みます。</p> <p>[目標] ア. 春日受水場、中宮浄水場管理棟、鷹塚山配水場の更新・改良を実施 イ. 中宮浄水場更新計画、津田低区配水場耐震化計画の策定</p>	<p>各水道施設について、下記のとおり更新・改良と合わせ耐震化に向けた取り組みを進めた。</p> <p>①春日受水場の更新工事を実施(平成23年10月～) ②管理棟・水質試験棟の更新工事を実施(平成26年3月～) ③鷹塚山配水場の用地買収を完了 ④津田低区配水場の基本設計委託(耐震化計画の策定)を実施(平成25年9月～)</p> <p>中宮浄水場の更新に向けた方針を決定</p>	A
2 管路の更新・改良	<p>[概要] ア. 管路(導水管、送水管、配水管)も施設と同様に老朽化が進んでいるため、耐震化とあわせ計画的・効率的に更新・改良をすすめます。 イ. 漏水の防止と鉛対策を目的に鉛製給水管の解消を進めます。</p> <p>[取り組み] ア. 「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、耐震化とあわせ更新・改良に取り組みます。 イ. 配水管の更新にあわせ、鉛製給水管の解消を進めます。</p> <p>[目標] ア. 年間約10kmの管路の更新・改良を実施 イ. 鉛製給水管率を12%に低減</p>	<p>管路の更新を耐震化と合わせて取り組み、計画目標値である年間約10kmの整備を行った。</p> <p>管路更新延長 10,868m うち耐震管布設延長 10,503m</p> <p>鉛製給水管の解消については、配水管の更新改良と合わせて行い、予定区域の解消事業を計画どおり完了した。</p> <p>平成25年度末 鉛製給水管率 21.7%※</p> <p>※25年度に給水件数について精査を行った結果、全給水件数、鉛製給水管使用件数ともに数値に変更があったため、昨年度より鉛製給水管率が上昇。鉛製給水管使用件数は、24年度:29,082件→25年度:28,428件に減少し、実質的には約2.2%減少。</p>	A
管路の更新施工延長	(参考:H21 12,234m H22 11,204m H23 10,783m H24 15,046m) H25 10,868m		
経年化管理率	(参考:H21 11.1% H22 16.0% H23 16.1% H24 17.5%) H25 19.9%		
鉛製給水管率	(参考:H20 26.9% H21 25.1% H22 23.8% H23 22.4% H24 21.1%) H25 21.7%		

基本施策 総合評価	A
-----------	---

評価結果の説明等
各水道施設について、計画目標の達成に向け、着実に取り組みを進めている。
また、管路の更新について、老朽管の事故等を未然に防止するべく着実に取り組んだ結果、計画目標の年間約10km以上の整備と、鉛製給水管の解消事業を計画どおり達成する事ができた。
以上の取り組み結果から評価をAとした。

今後の取り組みの方向性・展開方針

各水道施設について、引き続き、耐震化と合わせて計画的・効率的に更新・改良を進めていく。
管路については、布設後40年以上経過したものを老朽管と定義づけ、事故歴などを考慮した上で、鉛製給水管の取替えや移設工事等と共に整備を進め、計画目標の達成に向け取り組んでいく。

★参考(計画主要施策に関連する事務事業実績測定)

事務事業名	今後の方向性	所管部署	ID
1 水道部事業計画決定・進行管理事務	現状のまま継続	上下水道経営課	30390
2 水道管路整備事業	現状のまま継続	水道工務課	30375
3 水道施設維持管理業務	現状のまま継続	浄水課	30393